

平成 27 年度 第 1 回 研修報告会

開催日時：平成 27 年 12 月 5 日(土)10:00～12:00

場所：ホリスティックヘルスプラザかごしま 2 階

参加者：31 名（会員 29 名 非会員 2 名）

①第 4 5 回 全国性教育研究大会報告

講師：玉利恵美／安藤美智子／上村直美／久永房子

学校での性教育の実践について、ジェンダー承認をめぐる国際社会の動向について、児童養護施設、相談機関における性の課題と対応、生殖医学の最新情報などについての報告であった。

生殖医学については、妊孕性についての話で、生殖医学が進化しても、高齢妊娠出産は、リスクが高いことに変わりはなく、学生への性教育の中で、妊娠しやすい時期の説明や、体外受精などが万能ではないことも含めて説明していくことが大切であるとのことでした。

②地域での支援力を向上させよう～母子訪問指導者講習会～

講師：久永房子

母子訪問事業における新生児の見方・観察ポイント、周産期～更年期の下部尿路症状のアセスメントとケアについて話されました。

新生児の見方については、基本の見直しができ、最新の見方について説明がありました。尿路症状へのアセスメントでは、骨盤底筋群への意識づけが大事であること、普段からできる体操などの説明があり、どちらも現場で生かしていける内容で、とても参考になりました。



(文責 今和泉美貴)

平成 27 年度 日本助産師会タイアップ研修

テーマ：「助産師だからできる明日からの保健指導～安心して子育てできる保健指導をしよう～」

講師：渕元純子先生（日本助産師会保健指導部会長／渕元助産院院長）

南 武嗣先生（医療法人たけのこ会 みなみクリニック理事長）

開催日時：平成 27 年 12 月 5 日（土）13：00～16：30

場所：ホリスティックヘルスプラザかごしま 2 階

参加者：35 名（会員 26 名 非会員 9 名）

午後からはまず、「保健指導で地域格差を改善しよう！～健やか親子 21（第 2 次）を踏まえて～」と題して渕元先生に講演していただきました。

健やか親子 21 の様々なデータを用いて分かりやすく説明していただき、地域格差を解消するために私たち助産師に何ができるのか考えさせられる内容でした。また、出産準備とは産む準備だけではなく子供のいる生活へ移行する事を支援する活動であり、先を見据えた支援が大切であること、特に予防接種に関しては産後間もない時期は指導するには不適切な時期であり、情報は妊娠期に伝えることが重要など、これからの保健指導に活かせる内容だと思いました。

次に「助産師さんに知ってほしい予防接種の最新情報」と題して南先生に講演していただきました。

ワクチンの効果について時折ユーモアを交えながら楽しく説明して頂き、学びを深めることができました。ワクチンで罹患率が減る事や追加接種の重要性、予防接種をすることのリスクと利益を冷静に比較する事が大事などのお話があり、助産師の言葉かけがワクチン接種につながるのではないかとおっしゃっていました。講演後は次々と質問があり、参加者の関心の高さがうかがえました。

最後のワークショップでは、生後 2 か月からのワクチンデビューと 1 歳児の接種サポートをテーマに、どうしたら予防接種の重要性を理解してもらい接種率を上げることができるかを、各グループに分かれて話し合いました。

妊娠中や新生児訪問、就学时健診など、機会を見つけて分かりやすくしっかり説明するなど、活発に意見交換が行われていました。

（文責：稲葉まり）

